

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2018年6月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: SUNY New Paltz
留学期間	2017年8月～2018年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年5月23日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月下旬      2学期:1月下旬～5月中旬    3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約8000人
創立年	1828

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	\$ 8480	932,800円	
食費	\$ 4400	484,000円	
図書費		円	
学用品費	\$ 400	44,000円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	\$ 1200	132,000円	形態:
渡航旅費	\$ 4000	440,000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	\$ 18480	1,597,200円	1ドル=110円とする

## 渡航関連

渡航経路: アメリカン航空

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	15万円
復路	8万円 (ロス経由)
合計	23万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Skyscanner

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数3人)

3) 住居を探した方法:

大学の手配

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

住むことに関しては特に問題はありませんでした。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

International Program Office をはじめ多くの方がサポートしてくれるので心配ないと思います。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

日本の領事館から危険情報はメールで送信されてきました。基本的にどんな情報も携帯から得ていました。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内であればどこでもWIFIが使えます。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座を日本で新たに開設し、親からそこに送金してもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

自分の好きな日本食は持って行った方がいいと思います。現地ではなかなか手に入りません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

毎学期前に大学から請求がくるので、そのクレジットカードで支払っていた。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
飲料業界、小売業界
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
ニューパルツに行く方でサマーインターンを希望する場合は、留学終盤にかけインターンの日程を確認しておくことをおすすめします。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sociolinguistics	社会言語学
科目設置学部・研究科	言語学
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Eric Chambers
授業内容	社会階級、地域、人種による異なる言語使用について
試験・課題など	毎月3ページほどのPaper、期末はDiscussion
感想を自由記入	今までにない視点から言語を学ぶことが出来、とても面白い授業でした。位置づけとしては一番難しいレベルの授業でしたが、教授の評判もよく、課題もさほど大変ではないので履修をお勧めします。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cultural Anthropology		文化人類学	
科目設置学部・研究科	人類学		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Victor De Munck		
授業内容	世界各地の原住民族について		
試験・課題など	毎授業40~50ページのリーディング、筆記形式の中間、期末		
感想を自由記入	クセの強い教授で単位取得がとても大変でした。話題があっちこっちに行ってしまうので授業を理解するのに苦労しました。テストはそれほど難しくありませんが、現地学生からの評価も低かったので特別な理由がない限り履修はおすすめしません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introductory Psychology		心理学入門	
科目設置学部・研究科	心理学		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Morgan Gleason		
授業内容	心理学の基礎		
試験・課題など	4回のテストと期末 計5回の筆記試験		
感想を自由記入	心理学とは言いつつも生物学的要素が強かったと思います。理科が苦手な自分でも理解することはできました。Introがつく授業はどの授業も気軽に受講できます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro Sociology		社会学入門	
科目設置学部・研究科	社会学		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	James DeArce		
授業内容	人間の行動パターン、教育、異文化理解など幅広く学ぶ		
試験・課題など	単元ごとにオンラインテスト、プレゼン		
感想を自由記入	それぞれの単元で取り扱われるトピックがどれも興味深いものでした。普段全く気にしない事柄全般(人間の行動パターンなど)に着目し掘り下げていくというものでした。教授も留学生に理解があり、とても優しくかったです。		

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	入学
8月～9月	TOEFL の勉強、留学先の決定
10月～12月	出願、面接
2017年 1月～3月	留学に向けた資金集め、英語の勉強（スピーキング中心）
4月～7月	英語の勉強、留学準備
8月～9月	留学開始
10月～12月	秋学期期末試験
2018年 1月～3月	
4月～7月	春学期期末試験、留学終了
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	中学2年生の時に2週間ほどボストンにホームステイしたことがありました。その時に感じた新鮮さや衝撃、自分の知らない世界をもっと深く知りたいと思ったのがきっかけです。また大学生活に自分を高める新たな刺激を求め、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前はありとあらゆる準備を全てこなしていたように記憶しています。提出書類、英語力の向上はもちろん、youtubeなどで留学先大学の動画を見たり、実際の大学の講義もオンラインで視聴するようにしていました。しかしながら、実際に留学してみると自分の準備だけではカバーできない事だらけでした。今思うと留学に向けて気負いすぎてしまうところがあったと思います。なので今から留学に行かれる方は、基本的な準備をしっかりこなせば特別な準備は必要ないと思います。むしろどれだけ準備しても通用しないことだらけです。提出物、英語の勉強など基本はしっかりこなし、留学まではリラックスして過ごすことがより良いと思います。
この留学先を選んだ理由	自分の身をよりレベルの高いところに置きたかったため、あえて難易度の高い大学を選びました。またより多くの文化や価値観に触れたいと思っていたので、異なる人種が共存するニューヨークを選びました。
大学・学生の雰囲気	ニューパルツ自体がとても小さな町です。生活に困るほどではありませんが、大学以外ほとんど何もありません。ニューヨークまではバスで1時間半ほどで行けるので、週末などの休み中はニューヨークに出かける人が多くいました。キャンパスは自然が豊かで静かなので過ごしやすかったです。学生は真面目な人とそうでない人の差があるように感じましたが、どの学生もとても優しくかったです。知らない人でも困っている時には色んな人が助けてくれます。
寮の雰囲気	自分は比較的新しい寮に住んでいました。生活に困ることはなくとても過ごしやすかったです。また自分が住んでいた Crispell Hall は留学生の多い寮だったので、異なる国出身の学生とふれあう機会が多くありとても楽しかったです。毎週どこかしらでパーティーが開かれています。一方で古い寮ではシャワーが出ない、電気がつかないなどのトラブル多くあったそうです。どうしても嫌な場合は半期で寮を変えることができます。
交友関係	留学序盤のころは勉強や私生活の面でなかなかペースがつかめず、友達作りには苦労しました。しかし、2か月もすると友達の友達といった形で交友関係は自然と広がっていききました。外国の方は、自分が友達になりたいという姿勢を見せさえすれば、とてもフレンドリーなのでパーティーなどの集まりに顔を出し、より多くの人と会話をするのが大切だと思います。またクラスでも隣の人に気軽に話しかければ友達はできます。
困ったこと、大変だったこと	留学の初めは勉強から交友関係何から何まで全力を尽くすすぎてしまい精神的にとっても疲れてしまいました。留学といえど適度にリラックスすることは大切だと思います。また文化の違いは思った以上に苦労しました。相手を誤解してしまったり、逆にさせてしまうことがしばしばありました。しかし、そういった問題は留學生活に慣れるにつれて自然と解決されるものなので、留学前から心配する必要はないと思います。
学習内容・勉強について	多くの方が同じような経験をされたかと思いますが、留学序盤は勉強にとっても苦労しました。どの授業も40ページほどのリーディングに加え、プレゼンやペーパーが定期的に課されるのでとても大変でした。しかし困っている時には教授やクラスメイトが助けてくれたので何とか乗り切れました。もちろん誰もが助けてくれるわけではないので、勉強面で何か困ったことがあれば恥ずかしながら助けを求めることが大切だと思います。

課題・試験について	課題の量は膨大ですが試験はそれほど難しくありませんでした。基本的に授業を聞いて、課題さえこなしていれば良い成績はとれると思います。また各クラスに一人は仲の良い友達を作ることをおすすめします。そういった友達は教授よりも気軽に質問できますし、テスト前に一緒に勉強するだけである程度の点数はとれます。
大学外の活動について	大学外の活動は特に行っていませんでした。というのもニューパルツは人口の半分が学生のような町だったので、大学内の交友関係で十分に楽しむことができました。大学外でもなにか行いたい場合は、ときどき町で開催されるお祭り等に参加すると思います。
留学を志す人へ	留学において大切なことは明確な目標を持つことと毎日努力を怠らないことだと思います。10か月という期間は長いようでとても短いです。もちろん万事がうまくいくとは限りませんが、いかなる状況でも自分の進むべき方向に自信を持ち、進み続けてください。それがあなたにとっての最高の留学生活に近づく近道だと思います。留学生活はあなた自身が作り上げるものです。最後まで頑張ってください。応援しています。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
午後	授業	授業		授業	授業	外出	外出
	授業	授業		授業	授業	外出	外出
夕刻			自由時間			外出	
	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	自由時間	外出	

